

## 建学の精神

科学技術の進歩は多くの未知を解明し、私たちの生活に豊かさと安楽を与えてくれた一方で、自然環境の破壊や生活環境の激変が、新たな危機と不安とを私たちの心にもたらしつつある。科学技術の進展と高度成長を支えた過去の教育に欠けていたのは、「人間とは何か」という根本的な洞察である。今、必要とされるのは既知の知識の体系ではなく、

「自己とは何か」という真摯な問いかけと、総体として人間を洞察する、柔軟かつ鋭敏な感受性にほかならない。

また、現在は国境を越えた人間と情報のやりとりが日常化し、「国際化」がしきりに叫ばれている。しかし、わが国における「国際化」とは、明治以来、単なる「西洋化」を意味している場合が多かったのではないだろうか。真の国際化を達成するためには、まず自己を知り、自己の属する文化を学ばなければならない。日本の歴史・文化・芸術等に対して深い理解をもち、その上で他者、すなわち異文化との対話をくりかえすことによって、初めて国際人と呼ばれるにふさわしい資格を身につけることができると考える。こうした認識のもとに、私たちは白鳳女子短期大学（現・大和大学白鳳短期大学部）を創設した。白鳳とは、学び舎の位置する大和盆地に、かつて国際性豊かな芸術文化を实らせた白鳳時代から取った名称である。この名には私たちの文化の源流をたずねる意味と同時に、未来の蒼穹にはばたく鳳たらんとする祈願がこめられている。

「自己をみつめ、他者を知る」真の国際人を養成することが、私たちの願いである。一層の激動が予想される新世紀にあたって、白鳳女子短期大学（現・大和大学白鳳短期大学部）は、地球上のいかなる場所にあっても真を愛し、善を求め、美を願う人間を育成せんとする希求の、ささやかな礎石たらんとする思いをもって歩んでまいりたい。